

介護老人保健施設

老健ホームいしがわ

# きらめき



作業療法での共同作品

## 介護の未来への旅

介護保険法を改正する法律が昨年公布され、新設される「介護医療院」と従来の特養は生活施設で、在宅復帰への中間施設としての老健施設の位置づけに「在宅支援の機能」が追加される。一部の老健施設を除いて、その実情が「在宅復帰と在宅支援の機能」でよいかというと現場からは疑問もわいてくるのではなかろうか。しかし、平成30年度介護報酬改定が介護職員の処遇改善と人材確保のために若干改善されるという希望もある。今回の介護報酬改定では「ロボットやICTの活用」も議論されたという。以前にサイボーグ型ロボットの講演を聞いて非常に興味をもった。ロボットスーツ HAL(Hybrid Assistive Limb)は医療・介護・福祉や重作業を支援するもので、生理学、脳神経科学やロボット工学などの研究分野を融合させた新しいテクノロジーで実現された。人が歩こうと思うと脳から神経信号が筋肉に伝えられて脚が動く。その時に皮膚から漏れる微弱な生体電気信号をセンサーで感知し、コンピュータで解析して、腰と脚につけたモーターユニットに指令を出して歩行を支援する。さらに、装着者の動作の癖を解析したりコンピュータの学習機能でスムーズな動きが実現できる。小児麻痺や脳機能障害などによって歩行が不自由な人を支援するもので、ドイツでは世界に先駆けて保険適用されている。非常に高価であるが、この技術を駆使して簡略・軽量化したパワーアシストスーツを世界各社が開発しており、人が重量物を運ぶ一部の建築会社で採用されている。HALという名称は、スタンリー・キューブリック監督1968年作製の金字塔SF映画「2001年宇宙の旅」の人工知能コンピュータ名で、かつては世界を席卷したコンピュータ会社IBMのひとつ先の英単語で未来を感じさせるものがある。

施設長 吉本 谷博

# 食事を通して食べる喜びと楽しみをお届けします

管理栄養士 小林 妙子

当施設の食事は、入所者様の状態にあわせ「軟菜食」「あら刻み食」「刻み食」「ソフト食」「ペースト食」の5つの食形態を基本に提供しています。

軟菜食、あら刻み食、刻み食は、しっかり噛まなくても歯茎や上顎と舌でつぶせる素材で、噛む力や飲み込む力によって食材の細かさの調整や餡をかけるなど、安全に食べていただけるよう調理しています。

ソフト食は、ゼリー状又はムース状の形態でむせることなく飲み込めます。

ペースト食は、ペースト状、ミキサー状、ピュレ状の形態で均質でべたつかずまとまりやすくなっています。

どの形態の食事でも同じテーブルで摂っていただくので、ソフト食では献立にあわせた切り方や型を抜くなど変化を付け見た目にも配慮し、味付けは食材に調味料を混ぜ合わせてから固め、味を均一にします。

ペースト食は、食材ごとにミキサーにかけ色の濃い野菜はソースのように仕上げ、絵を描くように盛り付け目でも楽しんで頂いています。

また、入所者様の病状にあわせた療養食は、医師の指示のもと糖尿病食、高血圧食、心疾患食などを提供していますが、食事内容を厳しく制限するばかりでなく、十分な栄養量に配慮しつつ、食事を楽しみを感じていただけるよう工夫しています。

このほか、食事のイベントとして、ひな祭りなど月1回の行事食、月2回の一日喫茶、月4回の出張喫茶を開催し、それぞれの喫茶では入所者様に食べたい物を選んでいただき、食べる喜びをさらに高める工夫をしています。

今後も入所者様に「おいしかったよ。」と笑顔で言っていただけのように、「おいしく楽しい食事づくり」に取り組んでいきます。

## 12月行事食(クリスマスメニュー)のご紹介

ハンバーグステーキ  
付け合せ

人参グラッセ  
ブロッコリーソテー

ポテトサラダ

野菜のコンソメスープ

レアチーズケーキ

フルーツ いちご キウイフルーツ

生クリーム



軟菜食 あら刻み食



ソフト食



ペースト食

## 一日喫茶(ケーキバイキング)のご紹介

一日喫茶(ケーキバイキング)のご紹介

南瓜ケーキ 抹茶ケーキ ワッフル  
いろいろな種類のケーキの中から  
好きなものを選んでいただきました。



味付けがちょうど  
よかったわ。



# 「楽しかったよ」と言っていただけでいいように



老健ホームいしかわでは、入所者様に楽しんでいただけるよう、ボランティアの方々をお招きして、毎月「歌」「舞踊」「演奏」などを披露していただいております。



平成29年も多くのボランティアの方々にお越しいただきました。  
 コーラス杜の里／西南部オカリナ教室／大場瀧乃太鼓／福島里美／照洲会／  
 旭日公民館婦人部／MOA森本NW／西条康夫／ひまわり会／忠縄町獅子舞保存会／  
 日下部馨(順不同・敬称略)  
 いつも心温まる触れ合いを、ありがとうございます。  
 ご協力いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。



## 新春紅白歌合戦を開催しました



おなじみの懐メロを、オカリナの演奏に合わせて歌っていただきました。  
 施設長も学生に扮して登場され、いつもと違う装いに、入所者様からは笑いと歓声があがっていました。  
 今年も入所者様に楽しんでいただけるよう様々な催しを企画致します。



老健ホームいしかわでは、利用者様に楽しんでいただいている「一日喫茶」を地域の皆様にも開放し、手作りおやつとお茶を楽しみながら、医療や介護に関するお話や体験を通しての交流をさせていただいています。

平成29年度は、「災害時に役立つポリ袋調理」「夏を乗り切るために脱水を予防しよう」「ばあさん朝飯食べたかい？これって認知症？」「日めくり体操体験」「正しい手洗い体験」などのテーマに多くの地域の皆様に参加していただきました。

「昔から建物は見ていたけど、中に入るのは初めてです。」「外に出る機会になって良い。」「楽しみにしています。また来ます。」などのうれしいお言葉をいただき、私達職員の励みにもなっています。

今後も、皆様からのご希望も取り入れながら、様々な企画をしていきたいと考えています。ちょっと老健ホームいしかわをのぞいてみる気分で「一日喫茶」に参加していただけるように取り組んでいます。

介護の事で困ったら、まず近くの老健ホームいしかわに相談してみようと思っただけの身近な施設でありたい。そして、お役に立ちたいと考えています。

今後とも老健ホームいしかわをよろしく願いいたします。



「日めくり体操体験」より

## 感染対策委員会の紹介

看護職員・委員長 谷口 友和

老健ホームいしかわにある、各種委員会のひとつに感染対策委員会が在り、施設内の感染症（食中毒を含む）の発生や発生時の感染拡大を防止するため設置しています。委員会活動として、施設の課題を集約し感染対策の方針を立て、計画を実践します。決定事項や具体的な対策を施設全体に周知し、問題意識の共有や解決を行っています。施設内は集団生活を送る場でもあり、利用者様は高齢である事や体調がすぐれない方など比較的感染症に罹りやすい状況にある事を認識し、感染症自体は完全に無くせない事を踏まえ、感染症の被害を最小限にする活動を行っています。感染症発生時には迅速な対応を図れるように、施設内で研修会を実施し吐物処理などの手技や知識の習得の機会を設けたり、施設内の環境が整っているかなど定期的に巡回し必要に応じ改善を行い、利用者様の安全確保に努めています。



吐物処理実習より

おめでとう  
ございます！

100歳以上の入所者の皆様が、市からお祝いを頂きました。  
未永く元気にお過ごし下さい！



## 編集後記

今回は老健ホームいしかわの食をテーマに取り上げました。

皆様ご承知のとおり、健康維持に食事摂取は欠かすことのできないものです。ご自宅で独り暮らしをされていたかたが入所され、施設生活での適切な食事管理や内服管理により、介護状態が改善したという事例もあります。入所者様にとって一日三度のお食事の時間は、大きな楽しみでもあり、安全に美味しくお召し上がりになり、少しでも生活に潤いを感じていただけるよう、様々な工夫を凝らしていきたく思います。

また、「一人ぼっちの食事より、団欒での食事は美味しく感じる」といったことはよく言われます。施設生活での食事場面においては、職員の表情やお声掛け・何気ない心配りなどでも食事の雰囲気は和やかなものとなり、より美味しく感じていただける、より食が進むことにもつながります。

ぜひご家族様も、食事に関する様々なご意見・ご要望がございましたら、お気軽に職員にお申し付け下さい。入所者様の食事の向上に努めてまいります。よろしくお願い致します。

(D・H)